

令和2年度第1回自治協議会資料等への委員からのご意見に対する回答

ご意見	回答
<p>1 このコロナ禍の中で、江南区自治協議会として行えることは何なのか、早急に検討する必要がある。</p> <p>昨年度に計画した特色ある区づくり予算でイベント主体のものは今年度はどのような配慮をしても感染リスクを排除して行うのは難しいのではないかと。令和2年度後半に遅らせたところで、結局満足のいくイベントにならなかつたり、中止するのであれば、その予算を早めに別の形で活かせる方法はないか。</p> <p>昨年度の自治協議会で承認された内容を再検討し、今年度の事情に合わせた内容に早急に変更し、各自治協委員から書面でもメールでも承認を得て事業に取り組んではどうか。</p> <p>また、このような方針転換をしたこと自体を報道機関に情報提供し、江南区をPRすることも必要だと考える。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大によりイベント等を中止・延期した特色ある区づくり予算のうち、変更できる事業については目的の沿った事業として実施できるよう見直しの検討を進めています。</p> <p>自治協議会提案事業についても、イベントの開催の可否の判断など書面での開催も含め部会で意見交換を実施し、事業の目的を踏まえつつ必要な見直しを図っていくとともに、適宜報道機関へ情報提供していきたいと考えています。</p>
<p>2 福祉センターや老人憩の家、地域の茶の間を利用することで健康を維持できていたお年寄りもたくさんいる。電話などでの健康調査などはできないか。</p>	<p>4月上旬に、各民児協会長に対して「日常生活に心配のある（見守りが必要な）高齢者がいる場合は連絡いただきたい」「訪問時に健康福祉課、地域包括支援センターの連絡先を記載したチラシを活用（配布）していただきたい」旨の依頼を行ったところです。</p> <p>地域の茶の間については、6月1日以降準備が整い次第、再開していきます。</p> <p>さらに、地域の茶の間の代表者に対しても、健康福祉課、地域包括支援センターの連絡先を記載したチラシを配布し、日常生活や健康等に不安がある旨の相談を受けた際に、連絡先を伝えるよう依頼を行います。</p>

令和2年度第1回自治協議会資料等への委員からのご意見に対する回答

ご意見	回答
<p>3 子育て環境に関して、助産師、保健師の訪問や定期健診も中止、延期しており、外出自粛で子育てに悩む保護者がどこにも吐き出せずにいるのではないかと心配。「地域で子育て～見守る目、見守る心～」や「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」事業の予算で電話調査、チャット相談などできないか。</p>	<p>助産師による新生児訪問は3月上旬より延期していましたが、4月下旬から順次再開し、延期した期間中は、対象の方への助産師・保健師による電話相談や訪問が必要な方へは、保健師による家庭訪問を行いました。</p> <p>集団での母子保健事業は一部中止、延期となっておりますが、支援が必要な妊産婦や母子に対しては、個別対応（個別相談、家庭訪問、電話相談）を行いました。</p> <p>また、「妊娠・子育てほっとステーション」等の周知を図り、随時、相談を受け付けたほか、休館中の子育て支援センター及び児童館においても電話相談を受け付けました。</p> <p>今後も電話による相談のほか、子育て中の方が気軽に相談できる体制づくりに努めていきます。</p>
<p>4 経済面でも特に飲食店は死活問題となってる。休業要請に協力している企業を江南区のホームページやフェイスブックを利用して、テイクアウトなどで努力されていることや感染予防対策などをPRしてはどうか。インターネットに馴染みのない世代には、回覧板などでPRするのも良いかもしれない。</p>	<p>区内の飲食店でも新たにテイクアウトやデリバリーを始められている店舗が出てきています。産業振興課では「江南区魅力"彩"発見実行委員会」の中で協議し、このような取り組みを支援するため、区だよりでテイクアウト実施店の情報収集とホームページでの情報発信を行っております。今後、情報が充実した際には回覧などのPRも検討してまいります。</p>

令和2年度第1回自治協議会資料等への委員からのご意見に対する回答

ご意見	回答
<p>5 亀田縞の布マスクの手作りキットが販売されているが、PRできないか。</p>	<p>ご指摘の手作りキットの販売状況は確認できませんでしたが、亀田縞マスクについては、マスクのニーズの高まりもあり販売が増加していると聞いております。区としても、区内での亀田縞の利用促進、区民の亀田縞製品の保有増加などを目指しており、SNSを利用したPRにも心がけていきます。</p>
<p>6 文化面では、子供向けのスポーツクラブやカルチャーセンターなども経営の継続自体が困難と思われる。今、イベントなどを実施することはできないが、PR動画をフェイスブックなどでリンクを貼る程度はできるのではないか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民の方々には様々な自粛をお願いしており、ご不便をお掛けしております。新潟県では緊急事態宣言も解除され、その効果は出てきておりますが、あともう少しの辛抱が求められる状況にあります。</p> <p>市民生活の安心安全が十分に確保された際には、事業者から要望の声があれば、応えていくことも検討してまいります。</p>
<p>7 地域の事業について、今年度は祭りや清掃、防災事業の開催は感染予防の観点から開催は困難な状況だが「形だけでも行わないと補助金が下りないから」と規模を縮小して行うことが多くなると思う。今年度は、本来の補助金の使用の仕方ではなく、イベントという形でなくても補助金が地域に渡り、地域の事情に合わせて使用できるようにすることは可能か。</p>	<p>実施できない活動に対しては、補助対象にはできませんが、イベントの縮小や見直しをしていただいても、要綱にあてれば補助対象になります。</p> <p>コロナウイルス感染拡大防止のため密接、密集、密閉に注意し実施してください。</p>